

夜祭り10年ぶり復活

あす、下京の商店街

児童や学生 活性化協力

夜店で商店街を盛り上げる「サマーナイトフェスティバル」が21日、京都市下京区の商店街「七条中央サービス会」で10年ぶりに復活する。七条かいわいの地域を活性化しようと、商店街と小学校、大学生グループがタッグを組んだ。関係者は「夏祭りをきっかけにまちに多くの人を呼び込みたい」としている。

近隣での大型スーパー開店や商店街の空き店舗増加などによる客離れを防ぎ、活気ある商店街を作ろうと同サービス会が企画。総合学習で、地域の様子を

近隣の大型スーパー開店や商店街の空き店舗増加などによる客離れを防ぎ、活気ある商店街を作ろうと同サービス会が企画。総合学習で、地域の様子を

児童は学生の助言を受けながら、祭りのポスターや露店の看板、会場の地図を作成した。イベント名も児童が考案した。

当日は御前通から七本松通までに商店街の加盟店が軽食などの露店約20店を出店、学生や児童約70人が運営を手伝う。午後6時～9時。

同サービス会の岸田智之会長(55)は「地元根付き、互いの顔が見える商店街ならではの魅力を発信したい」と話す。



21日の夏祭りを前に、ポスターや看板の準備をする大学生と児童(七条第三小提供)

(今野麦)